

林業普及現地情報
2013-21号(通算200号)
平成25年10月16日
県南広域振興局林務部
記述者 佐々木 康彦

コンテナ苗木栽培技術講習会を開催しました ～北上川中流流域森林・林業活性化センター～

1はじめに

北上川中流流域森林・林業活性化センターでは、平成25年6月から、花巻市において3回にわたり、コンテナ苗木栽培技術講習会を開催しましたので、その概要について報告します。

2講習会の概要

本講習会は、平成25年度コンテナ苗木生産技術普及事業（県南広域振興局地域経営推進費活用事業）により、コンテナ苗木の栽培技術を県内の生産者へ広めることを目的として開催しました。

県内いち早く、平成22年からコンテナ苗木の栽培に取組んでいた横田幸介氏（岩手県山林種苗協同組合理事）に講師をお願いし、同氏の苗畑で行いました。1回当たり12～15人の参加があり、参加者は①培土の作成・播種、②育成管理、③収穫・出荷という一連の作業を研修しました。

(1) 第1回(6月21日) 培土の作成・播種



横田氏から説明を受けた後、用土、肥料及び水を混合しました。その後、コンテナ苗木栽培の特有作業であるコンテナへの「培土詰め」を

行い、詰めた培土の上にスギ種子を播種しました。

(2) 第2回(7月24日) 育成管理

第1回講習で播種し、参加者が1ヶ月間育成したコンテナ苗木を持ち寄り、育成管理の指導を受けました。その後、間引き、植替えといった育成作業の実習と夏場の管理における注意事項について研修しました。

(3) 第3回(9月18日) 収穫・出荷



収穫機（抜取り機）を使用したコンテナからの苗木抜取の後、透明ラップを用いた苗木の包装とダンボールへの梱包の実習を行いました。

3おわりに

講師の横田氏には、コンテナ苗木の栽培に取り組んだ経験談を随所に交えて、作業についてわかりやすく説明していただきました。また、参加者は、初めて行う作業にとまどいながらも基礎的な栽培技術の体験実習と栽培作業の全体像を把握することができました。

引き続き、県内のコンテナ苗木の安定的な供給体制が整備されるよう支援していきたいと考えます。